



SCB

ニュース&トピックス

No.2024-180

(2025. 3. 25)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

研究員 森川 友理

03-5202-7671

s1000790@facetoface.ne.jp

島田掛川信用金庫の高校生参加型アントレプレナーシップ研修

ポイント

- ▶ 島田掛川信用金庫は、2024年11月、静岡理工科大学と共催し、高校生への金融教育と取引先支援を主な目的とした「未来創造たまご塾 Presented by 島田掛川信用金庫&静岡理工科大学」を開催した。
- ▶ 「未来創造たまご塾」とは、株式会社ドングルズが提供するアントレプレナーシップ（起業家精神）を学ぶワークショップ形式の研修である。
- ▶ 当日は、高校生、大学生、地元企業等100名以上の参加者が、経済カードゲームを通して経済の仕組みを体験した。また、企業ブース訪問を通じて、学生は地元企業への理解を深め、企業は自社のPRを行った。
- ▶ アンケートでは、ほぼ全ての参加者が「期待以上で参加して良かった」と回答した。これを受けて同金庫では来年度以降も開催を検討している。

1. 研修開催

静岡県掛川市に本店を置く島田掛川信用金庫（図表1）は、2024年11月30日、静岡理工科大学と共催して「未来創造たまご塾 Presented by 島田掛川信用金庫&静岡理工科大学」を開催した。同金庫では高校生への金融教育と取引先支援を兼ねた施策実施を検討するなか、アントレプレナーシップ研修「未来創造たまご塾」を知り、当該研修の企画運営サービスを提供する株式会社ドングルズと連携して開催した。「未来創造たまご塾」の実施は、信用金庫業界においては、同金庫が初となる。

（図表1）島田掛川信用金庫の概要（23年度末）

本店所在地	静岡県掛川市
設立	明治12年(1879年)11月
預金残高	1兆183億円
貸出金残高	3,558億円
店舗数	49店舗
常勤役員数	731人 (嘱託・パート職員含む)

（備考）信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 研修内容

アントレプレナーシップとは、「起業家精神」の意味であり、新しい事業を創造し挑戦する姿勢や行動を指す。「未来創造たまご塾」は、アントレプレナーシップを学ぶワークショップ形式の研修で、金融教育を実施する企業のニーズに合わせてカスタマイズが可能となっている。同金庫は、第一部で金融教育を、第二部で就職・採用支援を行う二部構成の研修を企画した（図表2）。

第一部では、株式会社ドングルズ進行のもと、参加者を20グループに分けて、経済カードゲームを実施。高校生、大学生、企業混合のメンバーで、各グループが会社を作り、最

最終的にどの会社が一番お金を増やせたかを競った。

第二部では、企業ブース訪問を実施した。企業は各ブースで自社のPRを行い、学生はブースを巡って、地元企業への理解を深めた（図表3）。

（図表2）研修概要

名 称	未来創造たまご塾 Presented by 島田掛川信用金庫 & 静岡理科大学
日 時	2024年11月30日（土） 13:00~16:30
会 場	SK しんきんプラザ4階 SK 駅前ホール
主 催	島田掛川信用金庫、静岡理科大学
後 援	ふくろい産業イノベーションセンター、Tongali
企画運営	株式会社ドングルズ
プログラム	経済カードゲーム、適正検査解説、講話、企業ブース訪問、交流会 等
参加者	地元高校生47人、静岡理工科大学学生20人、同金庫インターンシップ学生20人、取引先企業20社

（備考）信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

（図表3）当日の様子



<100名を超える参加者>



<経済カードゲーム>



<同金庫2年目職員も信用金庫役で参加>



<企業ブース訪問>

（出所）島田掛川信用金庫 提供

3. 評価

同金庫は、従前より高校と連携した取組みを行ってきた。これが功を奏し、定員 40 名を超える 47 名の高校生が本研修に参加した。掛川駅前の利便性の高い会場を選定したことや、土曜日の開催としたことなど、学生の参加しやすい環境を整えたことも、参加の後押しとなった。

大規模な就活イベントでは、知名度の高い企業ブースに学生が集中してしまうことが多い。本研修では、経済ゲームを通じて高校生・大学生と企業の距離が縮まっていたことから、企業ブース訪問はどのブースも大変賑わっていた。

開催後に実施したアンケートでは、ほぼ全ての参加者が「期待以上で参加して良かった」と回答し、盛況のうちに終了した（図表 4）。

（図表 4）参加者の感想（属性別）

高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しく経済のことを知ることができた。 ・ 学校では聞けない話、経験だった。 ・ 様々な分野の話聞くことで自分の人生の選択肢が広がった。 ・ すごく貴重な体験だったので、他の人にもすすめたいと思う。
大学生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自ら進んで考え動くことの大切さを知れた。 ・ 経済の仕組みが短時間で効率的に分かった。 ・ 地元にある魅力的な企業を見つけることができた。 ・ 信用金庫の地方創生業務の概要を知ることができた。
企業・学校関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生、大学生、企業という異なる世代で交流できたことが良かった。 ・ 夢や挑戦から遠ざかっていたが、今一度頑張ろうと思った。 ・ 沢山刺激を受けた。 ・ (経済カードゲームを通じて) リーダーの指示の重要性を改めて感じた。 ・ どうやったら (学生に) 興味を持ってもらえるか、企業として考える良い機会となった。

（備考）信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

4. 今後の計画

参加した学生・企業からの評価が非常に高く、同金庫としても非常に良い取組みだったと評価している。今回参加していない地元企業からも、次回の参加を希望する声が多く上がっており、同金庫では規模の拡大も視野に入れつつ、来年度以降も本研修を実施する方針で検討している。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。